

令和5年度 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

事業所名 障害児通所支援事業所ちゅうらハウ 保護者等数(児童数) 4 回収数 4 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2	1		1		職員の資質向上に努めながら、余裕ある職員配置を行いたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			1		事業所の構造上のバリアフリーにおいては、現段階での改造は難しいので、対象児には十分な配慮を行い職員で対応を行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			1		常に安全面に配慮した空間を心掛けている
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3	1				保護者との話し合いの時間をもちニーズの把握に努める
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2	1		1		余裕ある職員」配置が行われる事でプログラム設定を行いたい
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2			2		長期休みなどを利用し、学童クラブの子ども達との交流を図る。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2			2		職員の研修を行うか、外部講師によりプログラムが出来るようにしていきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4					利用曜日にしか保護者との面談相談が出来ていないので、今に検討を行う。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	1		2		コロナ禍で、開催出来てないので、R5年度は、是非行いたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3			1		相談体制の説明を丁寧に行う事で、保護者が周知できるようにしていく
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					訓練の様子、動画や写真等でもっとも楽しく、安心して毎回の取り組みを共有できています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4					
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	4						
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3			1		マニュアル策定も行われ、毎月の訓練も行われているが、保護者への周知の仕方を見直す。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			2		上記同様、衆知を丁寧に行う
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	4					
	23 事業所の支援に満足している	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和5年度保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名 障害児通所支援事業所ちゅらハウ

保護者等数(児童数) 16

回収数 15

割合 94%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2			有資格者の配置を行いたい
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	4	1		改善できない課題に反省。安全面を配慮し、検討を行う
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15				
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5		未記入1	次年度は保護者の要望を取り入れながら、充実した開催が出来るようにしていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1		利用したことがないのでわかりません	丁寧な対応が大切だと思うので、今後も気を付け対応いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1			みんながわかるような周知の仕方を考えていく。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	14	1			ブログでの発信の在り方を考える
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2			説明は行っているが、全員が周知してないという事は、再度周知の在り方を見直す
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1			毎月行っている訓練の報告、周知の仕方を見直す。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1			全員が楽しく通所できるよう、全職員で取り組みを行う
	18 事業所の支援に満足しているか	15				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 28 日

事業所名 障害児通所支援事業所ちゅうらハウス

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			
	2	職員の配置数は適切である	1	5	1		児童に応じた良い支援を行うためには、職員数を増やす必要があるため、常時募集を行い余裕を持った員数の配置を行いたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	5		安全面を考え、バリアフリー化を行いたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1			全職員が参加出来るような体制を整えていききたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			全職員への周知、それに対する改善等の共有を図る
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1		全職員への周知を毎年行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		第三者への外部評価を文書として行う
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1			情報共有がたりないので、全職員が参加し行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	4	1		講師の関係で固定化されているプログラムがある。今後の課題として考えていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1			全職員の共有で、内容の把握共有を行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			職員での共有を行い、内容の把握に努める
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1			支援終了後には、勤務の関係上出来ないが、翌日の全職員が集まる出勤後のミーティングで振り返りを行い共有は図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2			ガイドラインを全職員が把握し、共有を図る	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2			保護者、学校との確認は行っているが、急な変更などの情報が入らず調整がうまくいかない時があるので、協力体制を強化し、気を付けていく	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						対象児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	1			全児童の情報共有は出来ないので、協力体制を取り情報共有を図っていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している						対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1				当市にセンターがないが、研修会への参加は行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7					
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	3			管理者のみ参加しているが、内容などはミーティングで報告している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2				全職員への共有が足りなかった。保護者への共有事項は、全職員へ伝える事の徹底を図る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			4	3		今年度は職員が研修会へ参加したので、今後取り入れ行いたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1			担当外でも、全職員も周知していく必要がある
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1				管理者、サビ菅、主任等で行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	1			今後の課題として、保護者の意向を汲み取り開催を行いたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1				研修等で再度全職員に対する説明を行う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7					

	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4			地域との交流の機会を今後増やしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				